

志賀内泰弘さん著
「京都祇園もも吉庵のあまから帖3」
を読ませていただきました。

人気シリーズ
第三弾です!!

舞台は
京都祇園

5つの心温まる
お話が入った
短編集で

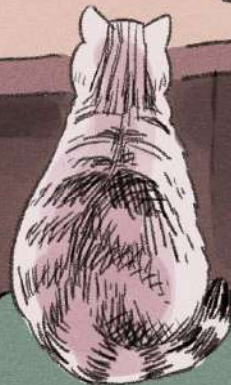
嫉妬や後悔
頑張っているのに
うまくいかない
もどかしさ

そんな
誰もが抱える
悩みを持つ
登場人物たちが

一見さんお断りの
甘味処「もも吉庵」
に相談にきます

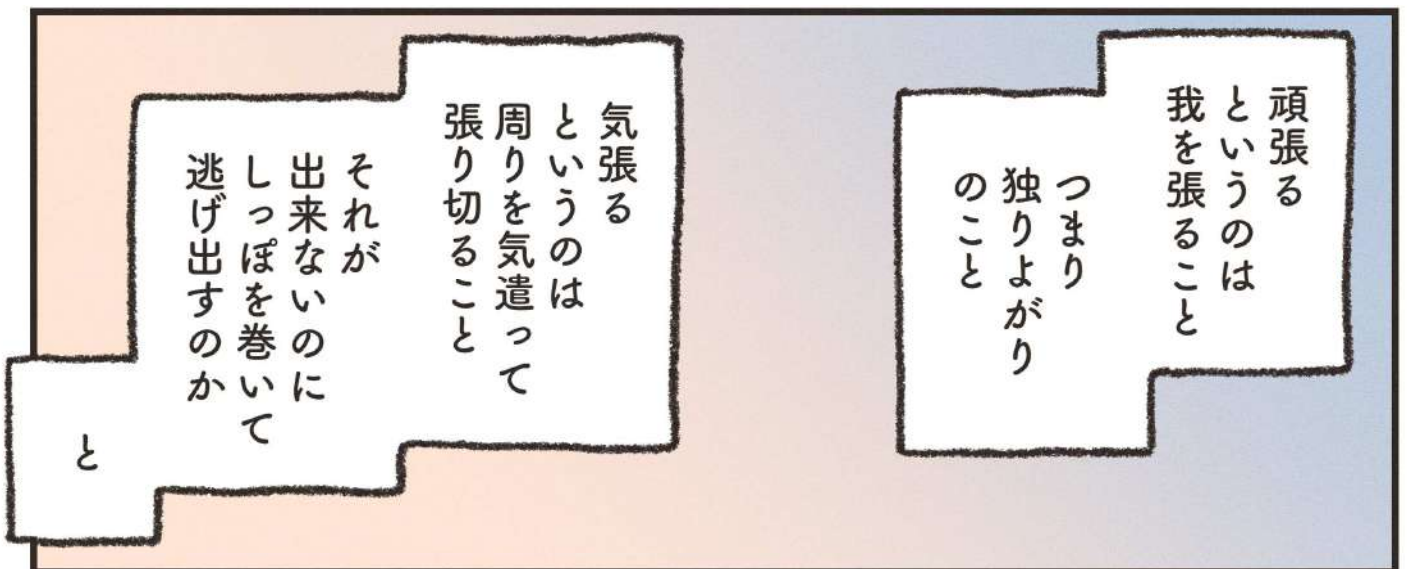
女将のもも吉は
時に優しく
時に厳しい言葉で

悩める人たちの
心を解きほぐして
いきます





「頑張ると気張るは違うんやで」



この作品
の魅力は
京都の甘味
の描写でも
あります

もも吉庵の
メニューは
魅もちぜんざい
のみ
なのですが

季節や人に
合わせて
アレンジ
される
ぜんざいに

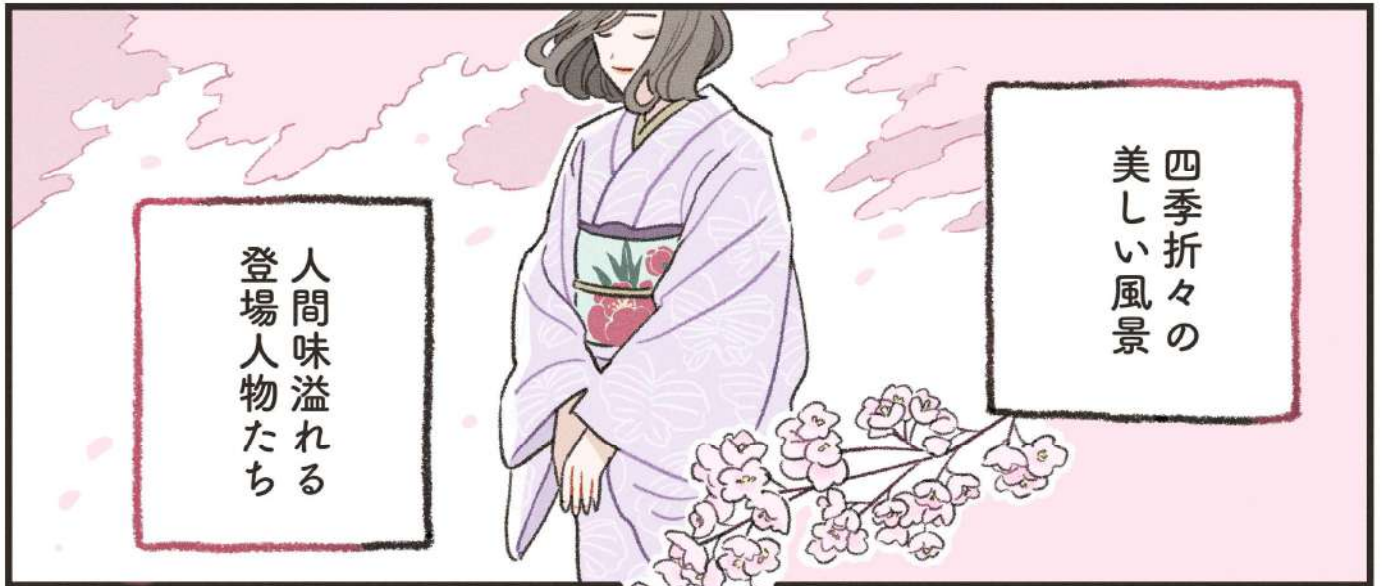
女将の濃こまやかな
「心配り」
を感じます

鼻の奥を
くすぐるような
小豆の香りと

ふわあくと
口ん中広がる
なんとも言えへん
上品な甘味

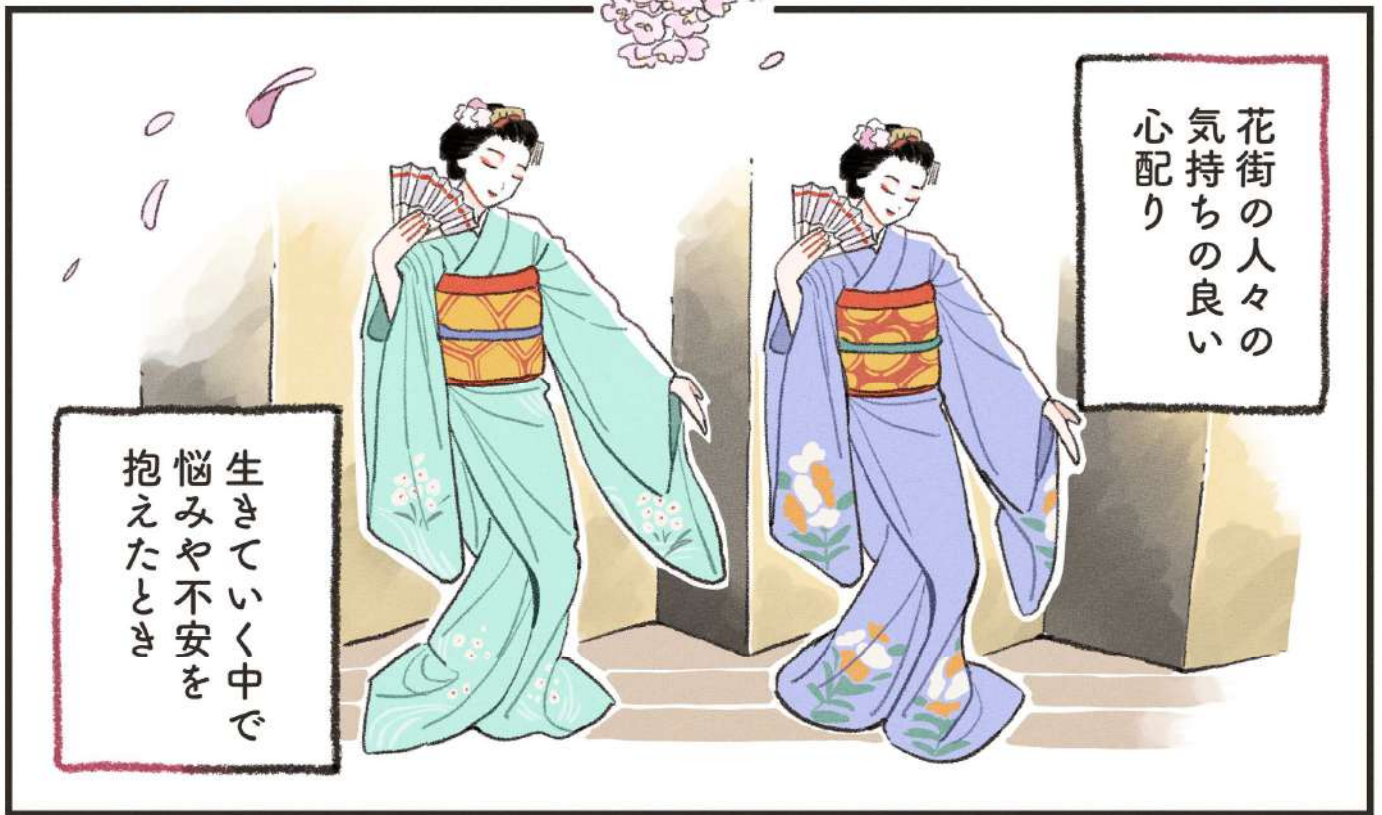
思い出したら
がまんできん
ように
なったんや

他にも有名な
京都のお菓子の
描写もすごく素敵で
お腹が減ります…



人間味溢れる
登場人物たち

四季折々の
美しい風景



生きていく中で
悩みや不安を
抱えたとき

花街の人々の
気持ちのいい
心配り



その細かな
描写の中に
何かヒントが
見つかるかも
しれません